

南富良野町 教育施設長寿命化計画



南富良野町立南富良野小学校

平成30年7月

南富良野町教育委員会

目 次

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3
4 対象施設	3

第2章 教育施設の目指すべき姿

1 安全性	4
2 学校活動への適応性	4
3 地域の拠点化	4

第3章 学校施設等の実態

1 児童・生徒数の推移	5
2 施設の保有状況	8
3 施設関連経費の推移	11
4 今後の維持・更新コスト（従来型）	12
5 老朽化状況の実態	13
6 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	36

第4章 教育施設整備の基本的な方針

1 教育施設の規模・配置計画等の方針	37
2 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準	40
3 旧学校施設の後活用等について	42

第5章 長寿命化の実施計画

1 改修等の優先順位付けと実施計画	43
2 長寿命化による効果	45

第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用	46
2 推進体制等の整備	46
3 フォローアップ	46

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

本町は、明治24（1981）年の砂金採取者の入地より始まり、明治30年代に入植が進み、長い開拓の歴史の中で、多くの先人の苦勞のうゑに今日の南富良野町が築かれてきている。地理的条件は、北海道のほぼ中央に位置し、東西43.3km、南北45.9km、総面積665.52km²と広大な面積を有し、北東には大雪山系の十勝岳、南には日高山脈、西は芦別岳、夕張岳を主峰とする夕張山脈が南北に縦走するなど四方が山並に囲まれ、町土の約90%が森林地帯であり、東西に貫流する空知川、更には町の中央部には金山ダムによってできた人造湖「かなやま湖」が豊かな水を湛えていることなどから、6つの集落が広く分散し町が形成されています。

このような中、地理的にも一体的な行政の推進効果や、円滑な地区間交流が困難な状況にあり、このような制約的条件を克服し、各地区の特性を生かしながら、地区の連携と相乗効果が十分発揮されるまちづくりを推進するため、学校施設等のインフラ整備を進めてきました。

しかし、こうした施設等も老朽化が進んでおり、大規模改修や建て替えを行わなければ、安心して使用できなくなる可能性があり、厳しい財政状況、更には今後一層厳しさを増すであろう地方交付税環境を鑑みると全ての施設を維持・更新することは困難な状況にあります。

国においては、インフラ長寿命化計画を策定するとともに、地方に対しても公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針を示すなど、公共施設等に求められる安全・機能を今後も確保していくための支援を実施しています。

本町においては、効率的・効果的な公共施設等の最適な配置を実現するため、平成29年3月に「南富良野町公共施設等総合管理計画」を策定しています。本計画は、その個別計画として、町内の学校施設及び社会教育・体育施設等の教育委員会が所管する施設を対象に、基本的な方針に基づく実際の整備内容や時期、費用等を具体的に表す計画として、「南富良野町教育施設長寿命化計画」を策定します。

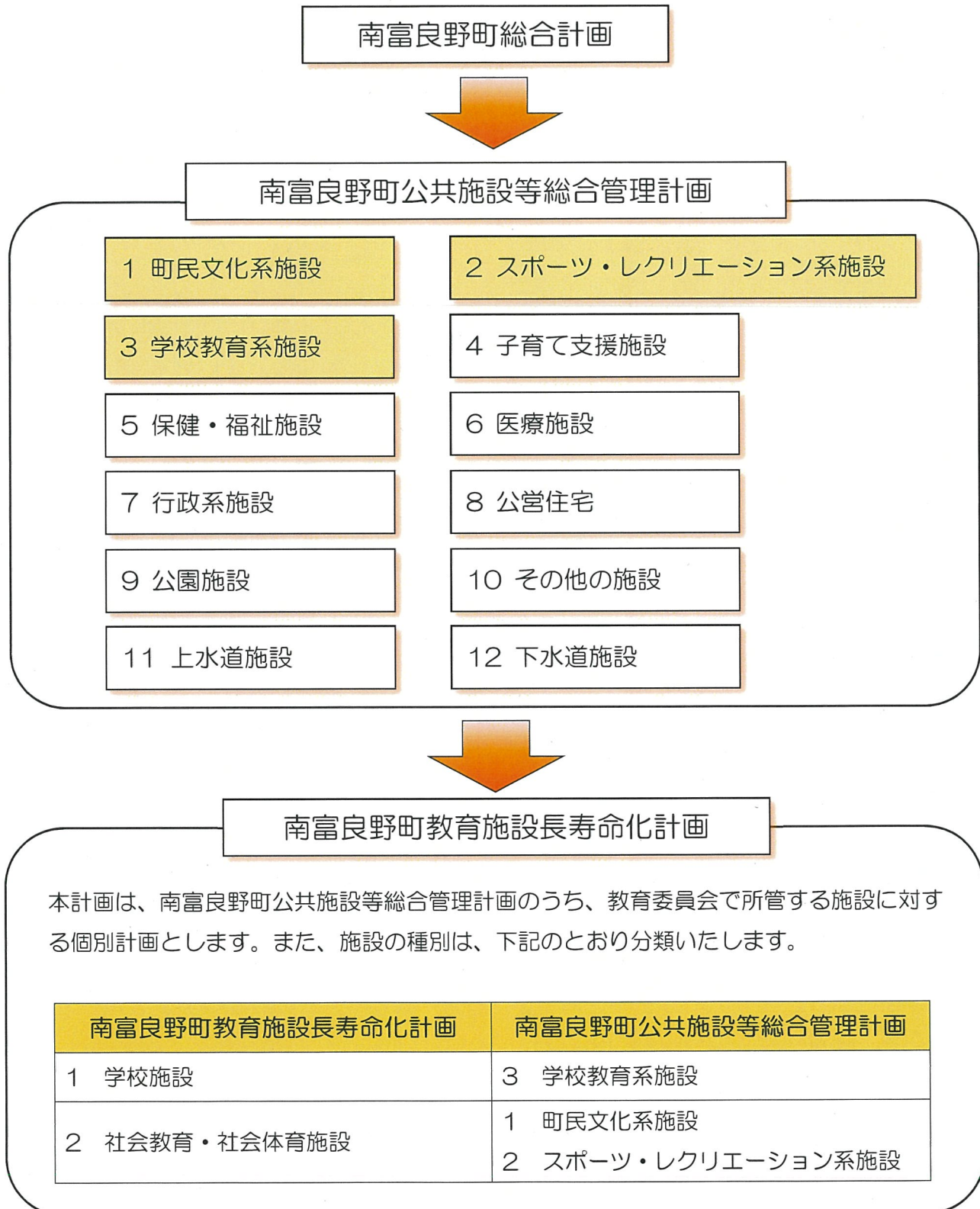


南富良野町立南富良野西小学校

2 計画の位置づけ

南富良野町公共施設等総合管理計画を上位計画とし、学校施設等の教育施設を対象に管理計画を定めます。

教育施設長寿命化計画の位置づけ



3 計画期間

本計画は、平成 30 年度から平成 69 年度までの 40 年間を整備保全計画期間とします。また、実施実行については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCA サイクルによる実行システムを構築します。また、本計画については5年ごとに見直します。

4 対象施設

本計画における対象施設を以下に示します。

学校施設
1 南富良野小学校（校舎、体育館、プール）
2 南富良野西小学校（校舎、体育館、プール）
3 南富良野中学校（校舎、体育館）
4 南富良野高等学校（校舎、体育館）
5 富良野地区広域連合 南富良野学校給食センター
社会教育・社会体育施設
1 北落合地区除雪管理センター
2 落合地区多目的センター
3 地域交流センター
4 金山地区コミュニティセンター
5 下金山地区多目的センター
6 町民体育館
7 空知川スポーツリンクス
8 かなやま湖スポーツ研修センター
9 湖畔野球場（トイレ）
後活用等の検討が必要な施設
1 旧北落合小学校（校舎、体育館）
2 旧落合小学校（校舎、体育館）
3 旧金山小学校（校舎、体育館）

第2章 教育施設の目指すべき姿

1 安全性

南富良野町は、平成 29 年 8 月 31 日に大雨による水害により、幾寅地区、落合地区を中心に大きな被害がありました。

学校施設及び社会教育施設は、災害時の避難所に指定されており、この水害の際も避難所として活用されています。

学校施設においては、小学校及び中学校の校舎は耐震化に対応したものとなっている一方で、小学校及び中学校の体育館、高等学校の校舎と体育館については、耐震化への対応ができていない状況にあります。

児童・生徒が安心して学ぶことのできる施設整備を進めるとともに、災害時には避難所として活用できるよう耐震化への対応や防災機能を備えていく必要があります。

社会教育・社会体育施設においても、地域住民が集まり学んだり、交流したりする施設であることから、安全・安心に活用できる施設整備を進めていきます。

2 学習活動への適応性

文部科学省の施設整備指針では、教育内容の変化に対応して、多様な学習内容・形態や ICT 化対応などの学習環境を確保し、将来の教育・社会の変化に対応できる柔軟な計画が重要であるとされています。また、児童・生徒の学習及び生活の場として、良好な学校生活環境を確保し、障がいのある児童・生徒への配慮や防災性、防犯性等の安全性、更には、省エネ対応などの環境負荷の低減や自然との共生等を考慮した施設環境を形成することが必要であるとしています。

本町においては、省エネ対策として、南富良野小学校及び南富良野中学校においては木質バイオマスボイラーを活用した暖房、南富良野西小学校においては地中熱ヒートポンプを活用した冷暖房を使用しております。今後も上記を念頭に置きつつ可能な範囲で配慮した計画を検討し、学習環境の改善を推進していく方針とします。

3 地域の拠点化

本町は、少子化等により小学校及び中学校を統廃合し、学校施設の再編を行いました。

学校施設は地域の拠点となる場所であることから、地域に開かれた学校づくりを進めていくことが求められています。平成 30 年度には、全ての小・中学校にコミュニティスクールを導入し、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。

また、町民の活動拠点となる社会教育・社会体育施設は、社会的なニーズに対応できるよう維持・管理を進めていきます。

第3章 教育施設の実態

1 児童・生徒数の推移

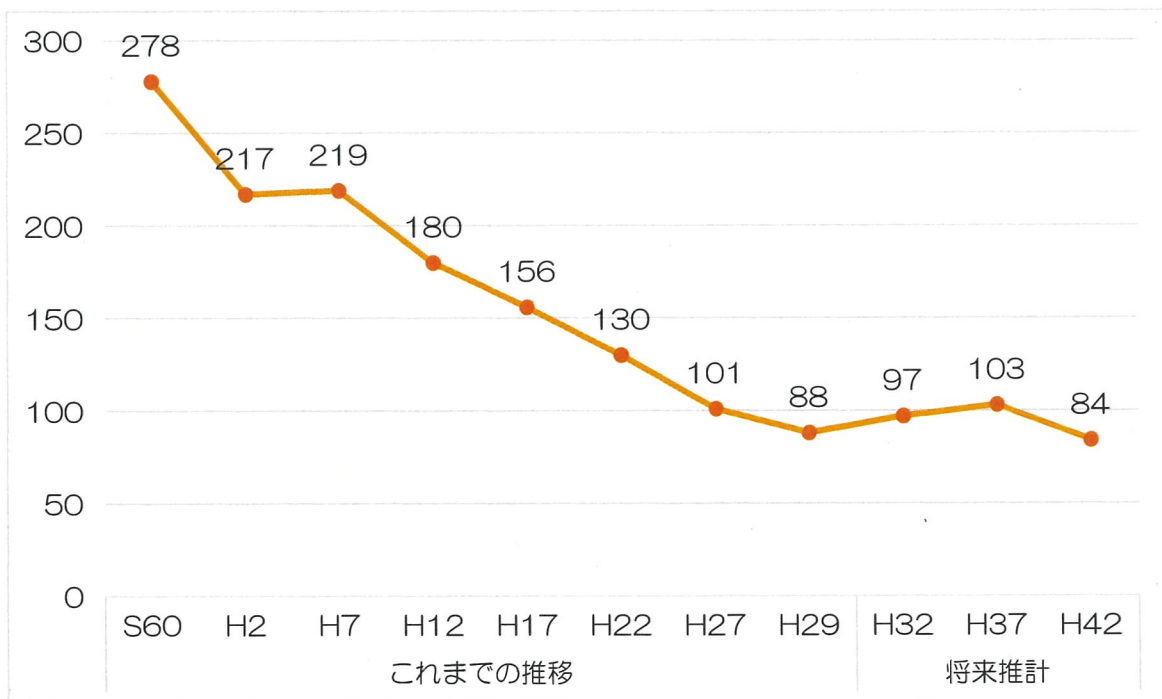
(1) 小学校児童数の推移

小学校の児童数は、平成 29 年 10 月 1 日現在 88 人です。年々減少を続けており、昭和 60 年の 278 人と比較すると約 3 分の 1 となっています。

将来推計は、今後 5 年は増加傾向になりますが、その後は減少していくことが予想されます。

	これまでの推移								将来推計		
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H29	H32	H37	H42
北落合小学校	11	18	19	3	5	3	H26.3.31 閉校 南富良野小学校へ統合				
落合小学校	27	14	16	15	10	11					
幾寅小学校	136	121	139	129	123	99					
東鹿越小学校	21	11	14	H12.3.31 閉校 幾寅小学校へ統合							
南富良野小学校	H26.4.1 南富良野小学校開校						87	75	80	88	72
金山小学校	64	36	13	17	12	9	6	H28.3.31 閉校 南富良野西小学校へ統合			
下金山小学校	19	17	18	16	6	8	8				
南富良野西小学校	H28.4.1 南富良野西小学校開校							13	17	15	12
合計	278	217	219	180	156	130	101	88	97	103	84

H17 までは町史記載の人数、H22 以降は学校計画記載の人数



図：小学校児童数の推移

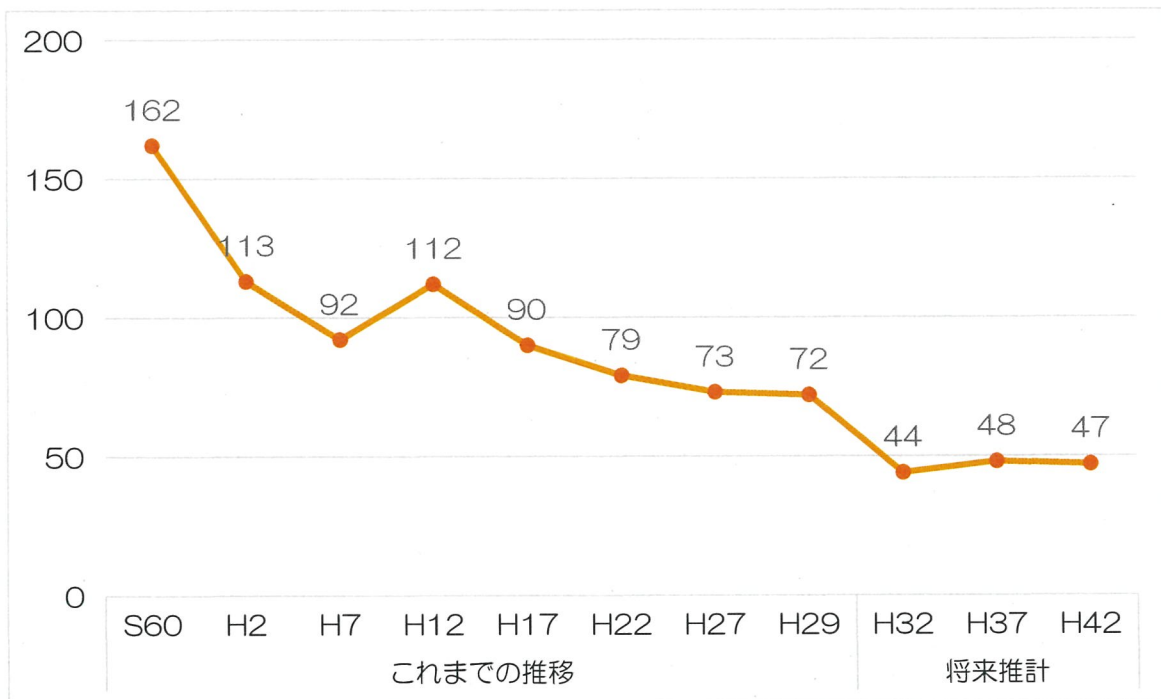
(2) 中学校生徒数の推移

中学校の生徒数は、平成 29 年 10 月 1 日現在 72 人です。年々減少を続けており、昭和 60 年の 162 人と比較すると約半数となっています。

将来推計は、今後減少し、その後は一定の人数で推移することが予想されます。

	これまでの推移								将来推計		
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H29	H32	H37	H42
落合中学校	16	12	9	8	H17.3.31 閉校 南富良野中学校へ統合						
幾寅中学校	103	70	57	86							
金山中学校	32	18	16	11							
下金山中学校	11	13	10	7							
南富良野中学校	H17.4.1 南富良野中学校開校				90	79	73	72	44	48	47
合計	162	113	92	112	90	79	73	72	44	48	47

H17 までは町史記載の人数、H22 以降は学校計画記載の人数



図：中学校生徒数の推移

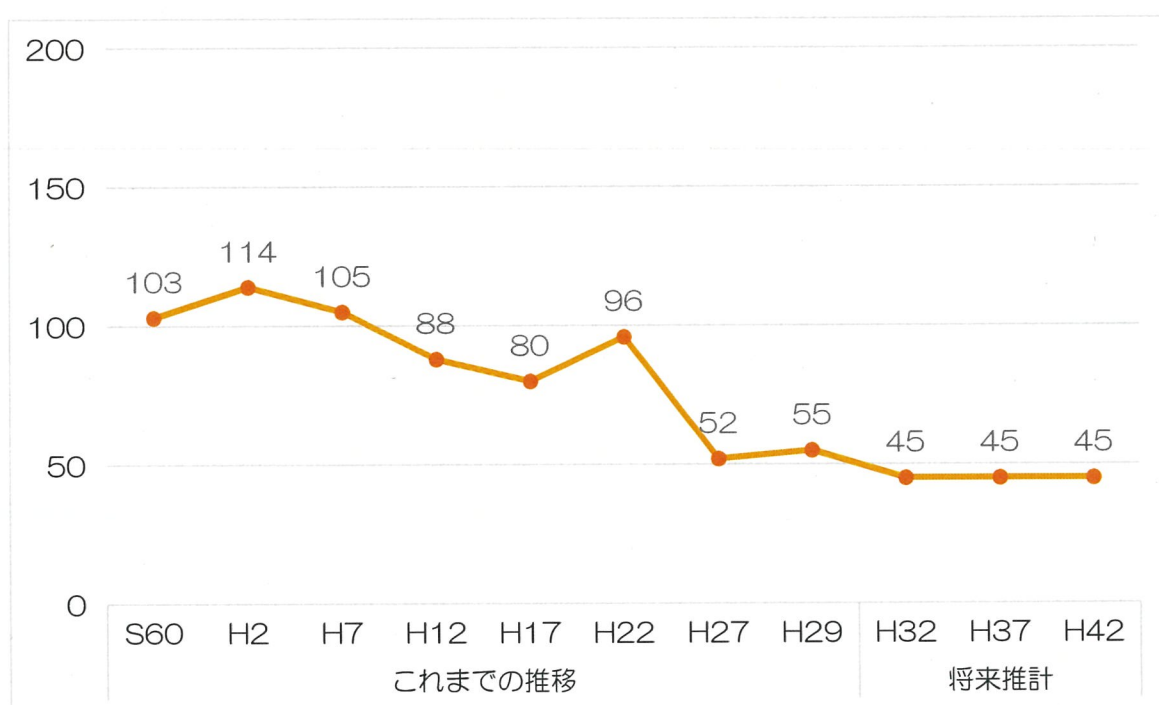
(3) 南富良野高等学校生徒数の推移

高等学校の生徒数は、平成 29 年 10 月 1 日現在 55 人です。年々減少を続けており、昭和 60 年の 103 人と比較すると約半数となっています。

将来推計は、一定の人数で推移していくことが予想されます。

	これまでの推移								将来推計		
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H29	H32	H37	H42
南富良野高等学校	103	114	105	88	80	96	52	55	45	45	45

H17 までは町史記載の人数、H22 以降は学校計画記載の人数



図：高等学校生徒数の推移

2 施設の保有状況

(1) 学校施設

本町には、小学校 2 校、中学校 1 校、高等学校 1 校の合計 4 校の学校施設があります。小学校全体の延床面積は 4,099 m²、中学校は 2,165 m²、高等学校は 2,198 m²、すべての学校を合わせた延床面積は 8,462 m²になります。

町内に小学校は 6 校ありましたが、平成 11 年度に東鹿越小学校を幾寅小学校へ統合しました。

平成 26 年度には、北落合小学校、落合小学校、幾寅小学校の 3 校を統合し、新たに南富良野小学校を開校、平成 28 年度には、金山小学校、下金山小学校の 2 校を統合し、新たに南富良野西小学校を開校しました。

学校、地域で構成された統合推進協議会により、児童数の減少、地域の事情等を協議した中で統合を行い現在は小学校 2 校となっています。

また、町内の中学校は 4 校ありましたが、平成 17 年度に統合し、新たに南富良野中学校を開校しました。

町立高等学校 1 校、給食センターを 1 棟保有しています。

名称		住所			平成 29 年 10 月 1 日		校区
棟		構造	延床面積 (m ²)	建築 年度	児 童 生徒数	学級数	
南富良野小学校		南富良野町字幾寅			75 (9)	10 (4)	北落合地区 落合地区 幾寅地区 東鹿越地区
	校舎	RC	2,844 m ²	H25			
	体育館	S	694 m ²	S57			
	プール	—	—	S41			
南富良野西小学校		南富良野町字下金山			13 (2)	5 (2)	金山地区 下金山地区
	校舎	RC	1,255 m ²	H27			
	体育館	S	729 m ²	S60			
	プール	—	—	S45			
南富良野中学校		南富良野町字幾寅			72 (3)	6 (3)	南富良野小学校 南富良野西小学校
	校舎	RC	2,165 m ²	H21			
	体育館	S	709 m ²	S58			
南富良野高等学校		南富良野町字幾寅			55	3	
	校舎	RC	2,198 m ²	S54			
	体育館	S	1,205 m ²	S54			
学校給食センター		南富良野町字幾寅					
	給食センター	S	312 m ²	S49			

() は特別支援学級

(2) 社会教育・社会体育施設

本町の公民館は、保健福祉課で管理している保健福祉センターを公民館本館とし、教育委員会で管理している、5つの公民館分館を保有しています。また、社会体育施設として、4つの施設を保有しています。

平成 29 年 10 月 1 日時点

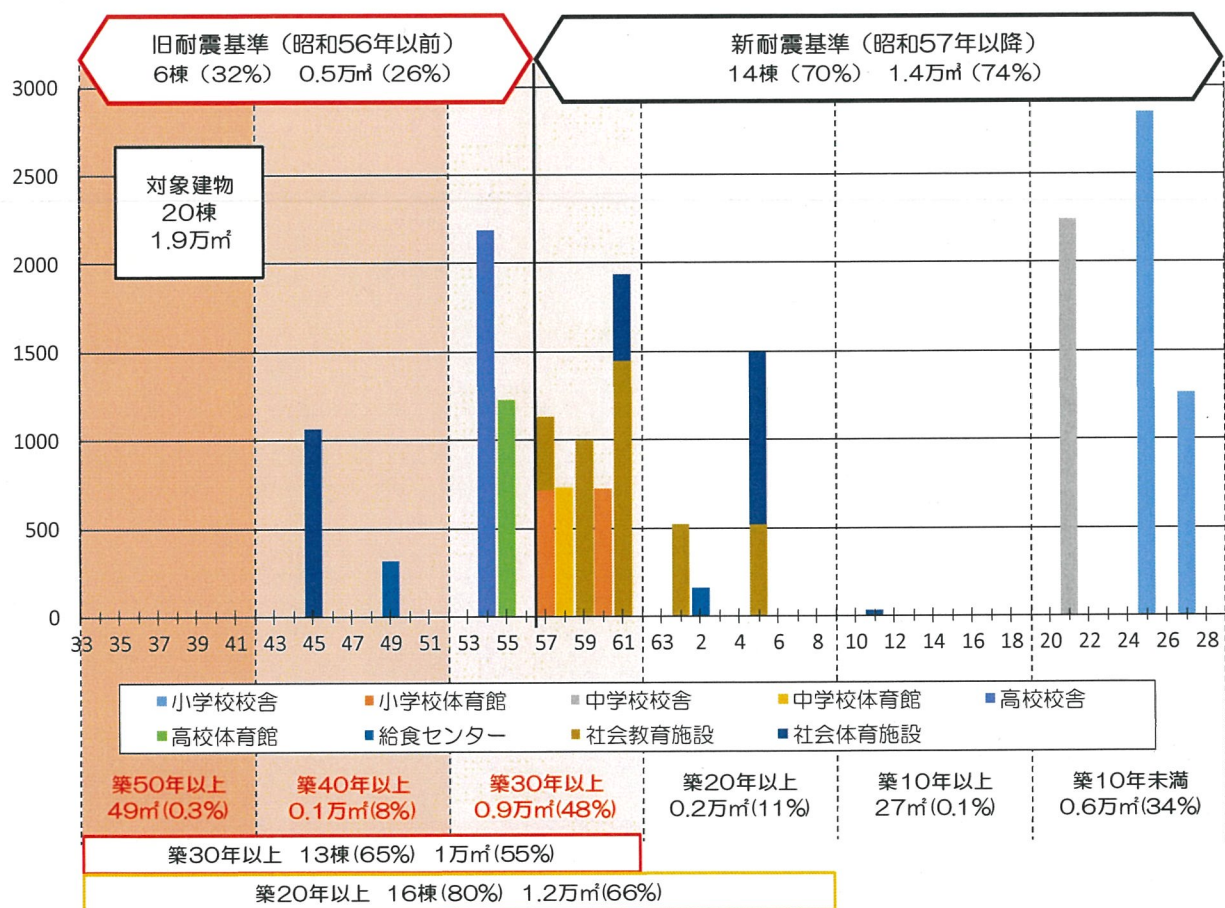
施設名	住所	構造	延床面積	建築年度
北落合地区除雪管理センター	南富良野町字北落合	RC	406 m ²	H3
落合地区多目的センター	南富良野町字落合	RC	516 m ²	H4
地域交流センター	南富良野町字東鹿越	RC	897 m ²	S61
金山地区コミュニティセンター	南富良野町字金山	RC	997 m ²	S58
下金山地区多目的センター	南富良野町字下金山	RC	514 m ²	H5
町民体育館	南富良野町字幾寅	S・W	1,062 m ²	S45
空知川スポーツリンクス	南富良野町字落合	S・W	976 m ²	H5
かなやま湖スポーツ研修センター	南富良野町字東鹿越	S	1,076 m ²	S61
湖畔野球場（トイレ）	南富良野町字幾寅	S	27 m ²	H11

(4) 築年別整備状況

計画対象の施設は、築30年以上の建物が13棟・1万㎡(55%)となっており老朽化が進んでいます。小学校及び中学校の校舎は統廃合により新校舎となりましたが、それ以外の建物については10年後には老朽化することになります。

築50年以上の建物は学校プールになりますが、大規模改修をすでに終えています。

現在活用している施設に築50年以上の建物はないことから、長寿命化による対応の可能性を検討する必要があると考えられます。



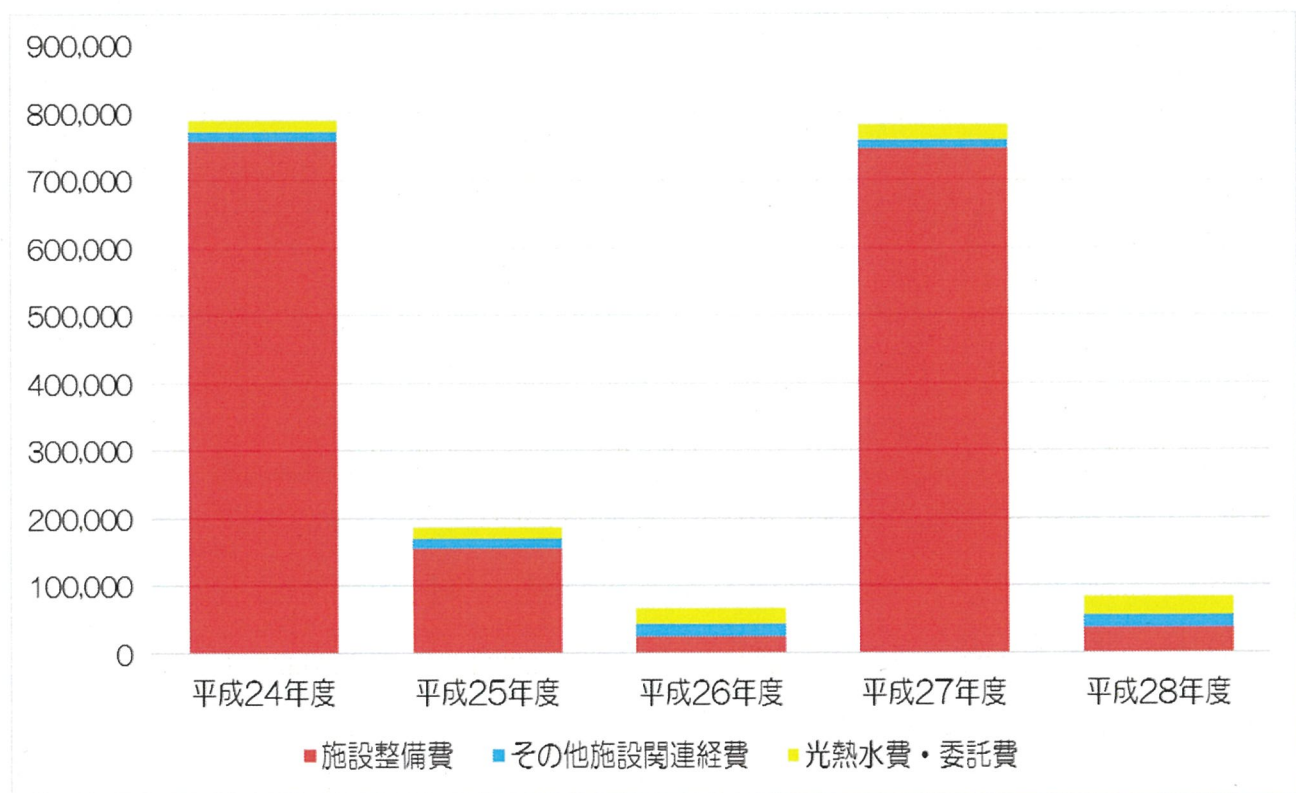
３ 施設関連経費の推移

直近５年間の施設関連経費は、平成２４年度及び２５年度に南富良野小学校の改築、平成２７年度に南富良野西小学校を改築したことにより、施設整備費が大きくなっています。

維持管理に必要な光熱水費及び委託費、その他施設関連経費の平均は、３７,６２７千円となっています。

(単位：千円)

	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
施設整備費	757,548	157,808	25,271	746,799	37,971
その他施設関連経費	15,697	14,845	18,751	13,614	17,827
光熱水費・委託費	15,770	16,364	23,136	23,355	28,779
合計	789,015	189,017	67,158	783,768	84,577



4 今後の維持・更新コスト（従来型）

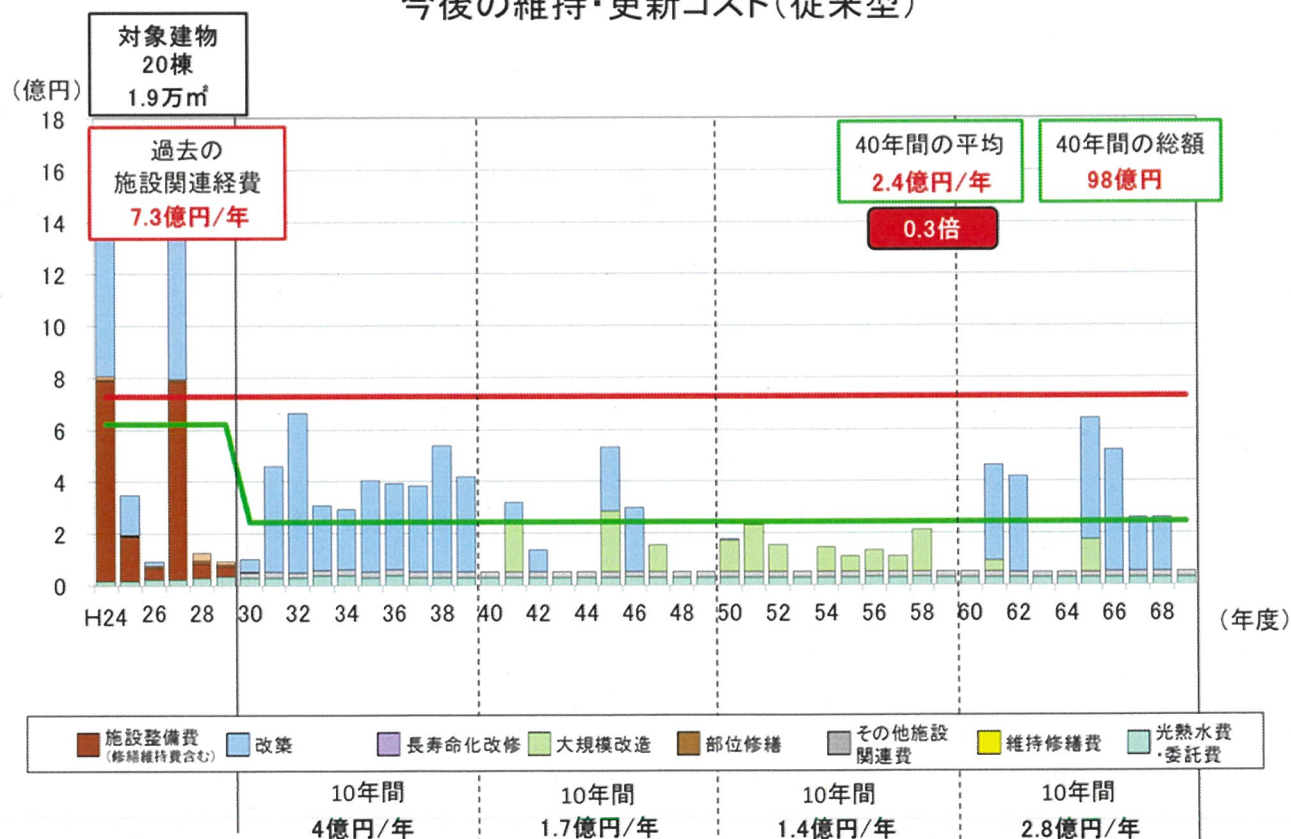
改築と大規模改造による従来型管理を行った場合の今後 40 年間の維持・改築コストを試算します。

（1）試算条件

改築周期は、南富良野町公共施設等総合管理計画に従い 60 年とします。その他、試算に必要な条件は以下の通りに設定します。

工種	周期	建替・修繕 期間	学校施設	社会教育施設	社会体育施設
改築	60 年	3 年	330,000 円/㎡	400,000 円/㎡	360,000 円/㎡
大規模改造	30 年	2 年	170,000 円/㎡	250,000 円/㎡	200,000 円/㎡
部位修繕	今後 10 年以内に計上	1 年	建物用途、部位及び判定区分に応じて、 改築単価に対する割合を設定		

今後の維持・更新コスト（従来型）



5 老朽化状況の実態

(1) 老朽化状況の把握フロー

老朽化状況は、①躯体の健全性調査と②躯体以外の劣化状況調査の2つに分けて詳細に把握・評価します。

躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから簡易診断を行い、必要に応じてコア抜き・はつり調査を行うことで建物ごとの残存耐用年数を把握し、具体的な長寿命化計画につなげます。躯体以外の劣化状況は、現地調査により把握し、劣化度の算定・評価を実施し、劣化優先順位づけや、保全方針、基準の見直しを行います。

(2) 躯体の健全性調査方法

建築物は躯体の健全性が確保されてはじめて、長期間使用することができますが、施工時の状況やその後の使用状況、立地環境によって使用できる年数が異なります。長寿命化の実施方針を立てるには、施設ごとに構造躯体の健全性を評価する必要があります。構造躯体の健全性の評価は、専門知識を有する技術者が現地調査や材料試験を行ったうえで評価しますが、効率的に把握するために、過去の耐震時の調査結果を用いる等、既存のデータを活用することも有効です。

計画策定段階の判定

- ・旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、耐震診断報告書に基づき、コンクリート圧縮強度が 13.5 N/m^2 以下のもの、及び圧縮強度が不明のものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とします。
- ・旧耐震基準の鉄骨造、木造等の建物については、現地調査結果を基に判断し、概ね建築後40年以上で腐食や劣化の著しいものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とします。
- ・上記以外は、試算上の区分を「長寿命」とします。

(3) 躯体以外の調査方法

躯体以外の劣化状況の把握は、対象建物ごとに、「劣化状況調査票」を作成し、躯体以外の劣化状況を把握します。

建物ごとの屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の劣化状況や改修時期を把握し、建築の専門家による評価を行います。

評価基準

屋根・屋上、外壁・・・目視による評価

良好  劣化	評価	基準
	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり）（躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている） 等

内部仕上、電気設備、機械設備・・・経過年数による評価

良好  劣化	評価	基準
	A	20 年未満
	B	20～40 年
	C	40 年以上
	D	経過年数に関わらず劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の 5 つの部位について劣化状況を 4 段階で評価し、100 点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を 100 点満点で算定します。

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

② 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
合計	60

③ 健全度

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100 点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

(2) 建物情報一覧

番号	施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年数	構造躯体の健全性					劣化状況評価				
						耐震安全性	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	長寿命化判定 試算上 の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点 満点)
						基準	補強								
1	南富良野小学校	RC	2,844	H25	4	新			長寿命	A	A	A	A	A	100
2	南富良野小学校体育館	S	694	S57	35	新			改築	C	C	D	B	B	38
3	南富良野小学校プール	—	—	S41	51	旧	—	—	長寿命	A	B	C	B	B	64
4	南富良野西小学校	RC	1,255	H27	2	新			長寿命	A	A	A	A	A	100
5	南富良野西小学校体育館	S	729	S60	32	新			改築	C	C	B	B	B	62
6	南富良野西小学校プール	—	—	S45	47	新			長寿命	A	A	A	A	A	100
7	南富良野中学校	RC	2,165	H21	8	新			長寿命	A	A	A	A	A	100
8	南富良野中学校体育館	S	709	S58	34	新			改築	C	C	C	B	B	49
9	南富良野高等学校	RC	2,198	S55	37	旧	済	H29	改築	B	D	C	B	B	43
10	南富良野高等学校体育館	S	1,205	S55	37	旧	済	H29	改築	B	C	B	B	B	62
11	南富良野学校給食センター	S	312	S49	43	旧	—	—	要調査	C	D	C	C	C	31
12	北落合地区除雪管理センター	S	406	S57	35	新			長寿命	C	A	B	B	B	79
13	落合地区多目的センター	RC	516	H元	28	新			長寿命	A	A	B	B	B	84
14	地域交流センター	RC	897	S61	31	新			長寿命	D	B	D	B	D	37
15	金山地区コミュニティセンター	RC	997	S58	34	新			長寿命	B	A	A	B	B	92
16	下金山地区多目的センター	RC	514	H5	24	新			長寿命	A	A	A	B	B	94
17	町民体育館	S・W	1,062	S45	47	旧	—	—	要調査	C	B	C	B	B	59
18	空知川スポーツリンクス	S・W	976	H5	24	新			改築	B	B	D	B	B	51
19	かなやま湖スポーツ研修センター	S	1,076	S61	31	新			長寿命	D	B	B	B	B	70
20	町営湖畔野球場 トイレ	S	27	H11	18	新			長寿命	A	A	A	A	A	100

(3) 各施設の劣化状況調査票

建物名	南富良野小学校 校舎				建築年度	平成25年度		(築 4 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	2,844 m ²	階数	地上 2 階		
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	21.0 N/mm ²	調査年度	平成25年度			
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容							
仕様(該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度			内容				
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし		A	
2 外壁		年度			内容				
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし		A	
部位	修繕・点検箇所		実施年度		特記事項			評価	
3 内部仕上	床・壁・天井							A	
	内部建具(扉、窓等)								
	室内表示								
	照明器具								
	衛生器具								
	冷暖房器具		毎年定期点検	木質チップボイラーを設置					
	その他()								
4 電気設備	分電盤							A	
	配線・配管								
	電灯・コンセント設備								
	その他(昇降設備)		毎月定期点検						
5 機械設備	給水配管							A	
	排水配管								
	消防設備		毎年定期点検						
	その他()								
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)								健全度	
								100 / 100点	

建物名	南富良野小学校 体育館			建築年度	昭和57年度		(築 35 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	694 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²	調査年度	平成 年度	
部位		工事履歴 (部位の更新) 年度及び工事内容						
仕様 (該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	平成9年度	内容	塗装工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根 (長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根 (スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			早急な改修 工事が必要		C
2 外壁		年度	平成9年度	内容	塗装工事			
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			吹替改修及 び塗装が必要		C
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		床 平成24年度	床の隙間発生、壁ボード面の浮き				D
	内部建具 (扉、窓等)			鋼製建具の劣化、モルタル剥離				
	室内表示							
	照明器具		平成6年度	照明設備改修工事				
	衛生器具		平成12年度	便所排水設備改修工事				
	冷暖房器具			30年経過のため更新を検討				
	その他 ()							
4 電気設備	分電盤							B
	配線・配管		平成6年度	照明設備改修工事				
	電灯・コンセント設備							
	その他 ()							
5 機械設備	給水配管							B
	排水配管		平成12年度	便所排水設備改修工事				
	消防設備							
	その他 ()							
特記事項 (改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載) 平成26年度屋内運動場大規模改修調査委託事業							健全度 38/100点	

建物名	南富良野小学校 プール（専用付属室）			建築年度	昭和41年度		（築 51 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	672 (49) m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²		調査年度	平成 年度
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）			劣化状況			特記事項		評価
1 屋根・屋上		年度	平成27,28年度	内容	上屋シート取替			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☒ その他の屋根 （シーズン中上屋シートを取付）			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					A
2 外壁		年度	平成4年度	内容	上屋建設工事			
☐ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					B
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成4年度	上屋建設工事				C
	内部建具（扉、窓等）		平成4年度	上屋建設工事				
	室内表示							
	照明器具		平成4年度	上屋建設工事				
	衛生器具			シーズン中仮設トイレを設置のため改修を検討				
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤		平成4年度	上屋建設工事				B
	配線・配管		平成4年度	上屋建設工事				
	電灯・コンセント設備		平成4年度	上屋建設工事				
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管		平成4年度	上屋建設工事				B
	排水配管		平成4年度	上屋建設工事				
	消防設備							
	その他（ろ過機）		平成10年度	ろ過機補修工事				
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							64 / 100点	

建物名	南富良野西小学校 校舎				建築年度	平成27年度		(築 2 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	1,255 m ²	階数	地上 1 階		
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度		24.0 N/mm ²	調査年度	平成27年度		
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容							
仕様(該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	内容						
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし		A	
2 外壁		年度	内容						
☐ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし		A	
部位	修繕・点検箇所		実施年度		特記事項			評価	
3 内部仕上	床・壁・天井							A	
	内部建具(扉、窓等)								
	室内表示								
	照明器具								
	衛生器具								
	冷暖房器具				ヒートポンプシステムを導入				
	その他()								
4 電気設備	分電盤							A	
	配線・配管								
	電灯・コンセント設備								
	その他()								
5 機械設備	給水配管							A	
	排水配管								
	消防設備		毎年定期点検						
	その他()								
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)							健全度		
							100/100点		

建物名	南富良野西小学校 体育館			建築年度	昭和60年度		(築 32 年)
構造種別	RC	S	W	延床面積	729 m ²	階数	地上 1 階
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	N/mm ²		調査年度	平成 年度
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容					
仕様（該当する項目にチェック）			劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	内容				
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根（ ）		☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある		早急な改修工事が必要		C	
2 外壁		年度	内容				
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☒ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		吹替改修及び塗装が必要		C	
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項		評価	
3 内部仕上	床・壁・天井					B	
	内部建具（扉、窓等）			鋼製建具の劣化、モルタル剥離			
	室内表示						
	照明器具						
	衛生器具		平成27年度	トイレ改修工事			
	冷暖房器具			30年経過のため更新を検討			
	その他（ ）						
4 電気設備	分電盤					B	
	配線・配管						
	電灯・コンセント設備						
	その他（ ）						
5 機械設備	給水配管					B	
	排水配管						
	消防設備						
	その他（ ）						
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）						健全度	
						62 / 100点	

建物名	南富良野西小学校 プール（専用付属室）			建築年度	昭和45年度		（築 47 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	370 (39) m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²		調査年度	平成 年度
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）			劣化状況			特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	平成29年度	内容	上屋シート取替			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☒ その他の屋根 （シーズン中上屋シートを取付）			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					A
2 外壁		年度	平成27年度	内容	更衣室棟、プール棟改修工事			
☐ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				A
	内部建具（扉、窓等）		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	室内表示							
	照明器具		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	衛生器具		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				A
	配線・配管		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	電灯・コンセント設備		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				A
	排水配管		平成27年度	更衣室棟、プール棟改修工事				
	消防設備							
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							100 / 100点	

建物名	南富良野中学校 校舎			建築年度	平成21年度		(築 8 年)
構造種別	RC	S	W	延床面積	2,165 m ²	階数	地上 1 階
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	18.0 N/mm ²	調査年度	平成21年度	
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容					
仕様(該当する項目にチェック)			劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	内容				
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし	A
2 外壁		年度	内容				
☐ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			異常なし	A
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項			評価
3 内部仕上	床・壁・天井			多目的ホールの床に凹凸がある			A
	内部建具(扉、窓等)						
	室内表示						
	照明器具						
	衛生器具						
	冷暖房器具		毎年定期点検	木質チップボイラーを設置			
	その他()						
4 電気設備	分電盤						A
	配線・配管						
	電灯・コンセント設備						
	その他()		毎月定期点検				
5 機械設備	給水配管						A
	排水配管						
	消防設備		毎年定期点検				
	その他()						
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)						健全度	
						100	100点

建物名	南富良野中学校 体育館			建築年度	昭和58年度		(築 34 年)
構造種別	RC	S	W	延床面積	709 m ²	階数	地上 1 階
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	N/mm ²		調査年度	平成 年度
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容					
仕様(該当する項目にチェック)			劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	平成10年度	内容	屋根及び外壁塗装工事		
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	早急な改修 工事が必要		C	
2 外壁		年度	平成10年度	内容	屋根及び外壁塗装工事		
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☒ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある	吹替改修及 び塗装が必要		C	
部位	修繕・点検箇所	実施年度	特記事項			評価	
3 内部仕上	床・壁・天井	平成25年度	床修繕			C	
	内部建具(扉、窓等)						
	室内表示						
	照明器具	平成6年度	照明設備改修工事				
	衛生器具	平成16年度	便所排水設備改修工事				
	冷暖房器具		30年経過のため更新を検討				
	その他()						
4 電気設備	分電盤					B	
	配線・配管	平成6年度	照明設備改修工事				
	電灯・コンセント設備						
	その他()						
5 機械設備	給水配管					B	
	排水配管	平成16年度	便所排水設備改修工事				
	消防設備						
	その他()						
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)						健全度	
						49/100点	

建物名	南富良野高等学校 校舎				建築年度	昭和55年度		(築 37 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	2,198 m ²		階数	地上 2 階	
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度		29.8 N/mm ²		調査年度	平成29年度	
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容							
仕様(該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	平成21年度	内容	校舎階段室外壁等改修工事				
☒ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()				☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☒ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			B		
2 外壁		年度	平成21年度	内容	校舎階段室外壁等改修工事				
☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス				☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		1/3~1/9 の部材は、 ひび割れが 生じている	D		
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価	
3 内部仕上	床・壁・天井			床 ひび割れ有				C	
	内部建具(扉、窓等)								
	室内表示								
	照明器具								
	衛生器具		平成23年度	トイレ改修					
	冷暖房器具		毎年定期点検						
		その他()							
4 電気設備	分電盤							B	
	配線・配管		平成13年度	機械室配管更新					
	電灯・コンセント設備								
	その他()		毎月定期点検						
5 機械設備	給水配管							B	
	排水配管		平成23年度	トイレ改修					
	消防設備		毎年定期点検						
	その他()								
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載) 平成29年に実施した耐震診断結果において耐震性に疑問ありと診断							健全度		
							43/100点		

建物名	南富良野高等学校 体育館				建築年度	昭和55年度		(築 37 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	1,205 m ²		階数	地上 1 階	
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度		34.3 N/mm ²		調査年度	平成 年度	
部位		工事履歴 (部位の更新) 年度及び工事内容							
仕様 (該当する項目にチェック)				劣化状況				特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	平成15年度	内容	屋根外壁及び非常階段塗装工事				
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根 (長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根 (スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()				☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					B
2 外壁		年度	平成15年度	内容	屋根外壁及び非常階段塗装工事				
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☒ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス				☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☒ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					C
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項					評価
3 内部仕上	床・壁・天井								B
	内部建具 (扉、窓等)		平成11年度	外壁窓改修工事					
	室内表示								
	照明器具		平成7年度	照明設備改修工事					
	衛生器具								
	冷暖房器具								
	その他 ()								
4 電気設備	分電盤								B
	配線・配管								
	電灯・コンセント設備								
	その他 ()								
5 機械設備	給水配管								B
	排水配管								
	消防設備								
	その他 ()								
特記事項 (改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載) 平成29年に実施した耐震診断結果において倒壊の危険性が高いと診断								健全度	
								62/100点	

建物名	富良野地区広域連合 南富良野学校給食センター			建築年度	昭和49年度		(築 43 年)
構造種別	RC	S	W	延床面積	312 m ²	階数	地上 1 階
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²	調査年度	
部位	工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容						
仕様(該当する項目にチェック)			劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上	年度		内容				
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			腐食が進行している	C
2 外壁	年度		内容				
☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☒ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			外壁塗装の剥離、壁面全体にクラックの発生	D
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項			評価
3 内部仕上	床・壁・天井						C
	内部建具(扉、窓等)						
	室内表示						
	照明器具						
	衛生器具	平成11年度	便所排水設備改修工事				
	冷暖房器具						
	その他()						
4 電気設備	分電盤						C
	配線・配管						
	電灯・コンセント設備						
	その他()						
5 機械設備	給水配管						C
	排水配管	平成11年度	便所排水設備改修工事				
	消防設備						
	その他()						
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)						健全度	
						31	100点

建物名	北落合地区除雪管理センター（公民館北落合分館）			建築年度	平成3年度		（築 26 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	406 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	21.0 N/mm ²	調査年度	平成9年度		
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）			劣化状況			特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	平成9年度	内容	改修工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根（ ）		☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					C	
2 外壁		年度	平成20年度	内容	改修工事			
☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☒ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A	
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項			評価	
3 内部仕上	床・壁・天井		平成9年度	改修工事			B	
	内部建具（扉、窓等）		平成9年度	改修工事				
	室内表示							
	照明器具							
	衛生器具		平成9年度	改修工事				
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤		平成9年度	改修工事			B	
	配線・配管		平成9年度	改修工事				
	電灯・コンセント設備		平成9年度	改修工事				
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管		平成2年度	調理室改修工事			B	
	排水配管		平成2年度	調理室改修工事				
	消防設備		毎年定期点検					
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）						健全度		
						79 / 100点		

建物名	落合地区多目的センター（公民館落合分館）			建築年度	平成元年度		（築 28 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	516 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	26.7 N/mm ²	調査年度	平成9年度		
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）				劣化状況		特記事項		評価
1 屋根・屋上		年度	平成24年度	内容	屋根防水等改修工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根 （ ）		☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					A	
2 外壁		年度	平成24年度	内容	屋根防水等改修工事			
☐ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A	
部位	修繕・点検箇所	実施年度	特記事項				評価	
3 内部仕上	床・壁・天井	平成4年度	増築に伴う建築主体工事				B	
	内部建具（扉、窓等）	平成4年度	増築に伴う建築主体工事					
	室内表示							
	照明器具	平成4年度	増築に伴う電気設備工事					
	衛生器具							
	冷暖房器具	平成4年度	増築に伴う電気設備工事					
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤						B	
	配線・配管	平成4年度	増築に伴う電気設備工事					
	電灯・コンセント設備	平成4年度	増築に伴う電気設備工事					
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管	平成4年度	増築に伴う暖房設備工事				B	
	排水配管	平成4年度	増築に伴う暖房設備工事					
	消防設備	毎年定期点検						
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							84 / 100点	

建物名	地域交流センター（公民館東鹿越分館）			建築年度	昭和61年度		（築 31 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	897 m ²	階数	地上 2 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	N/mm ²		調査年度	平成9年度	
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）				劣化状況		特記事項		評価
1 屋根・屋上		年度	内容					
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根（ ）			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☒ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☒ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			2階天井が複数箇所落ちている		D
2 外壁		年度	内容					
☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☒ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					B
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成13年度	改修及び排水設備改修工事、2階天井が落ちている				D
	内部建具（扉、窓等）							
	室内表示							
	照明器具							
	衛生器具		平成13年度	改修及び排水設備改修工事 使用不可				
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤							B
	配線・配管							
	電灯・コンセント設備							
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管		平成13年度	改修及び排水設備改修工事 漏水あり				D
	排水配管		平成13年度	改修及び排水設備改修工事 漏水あり				
	消防設備							
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							37/100点	

建物名	金山地区コミュニティセンター（公民館金山分館）			建築年度	昭和58年度		（築 34 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	998 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	26.7 N/mm ²	調査年度	昭和59年度		
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）				劣化状況		特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	平成22年度	内容	外壁及び屋上防水改修工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根（ ）			☐ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					B
2 外壁		年度	平成9年度	内容	塗装工事			
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☒ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成22年度	天井 外壁及び屋上防水改修工事				A
	内部建具（扉、窓等）							
	室内表示							
	照明器具		平成23年度	大ホール照明器具改修工事				
	衛生器具		平成25年度	トイレ改修工事				
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤							B
	配線・配管							
	電灯・コンセント設備							
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管							B
	排水配管							
	消防設備		毎年定期点検					
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							92/100点	

建物名	下金山地区多目的センター（公民館下金山分館）			建築年度	平成5年度		（築 24 年）	
構造種別	RC	S	W	延床面積	514 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	26.7 N/mm ²	調査年度	平成4年度		
部位		工事履歴（部位の更新）年度及び工事内容						
仕様（該当する項目にチェック）				劣化状況		特記事項		評価
1 屋根・屋上		年度	平成29年度	内容	屋上防水改修工事、外壁塗装工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根（長尺金属板、折板） ☐ 勾配屋根（スレート、瓦類） ☐ その他の屋根（ ）			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					A
2 外壁		年度	平成29年度	内容	屋上防水改修工事、外壁塗装工事			
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☒ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁（ ） ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成15年度	多目的ホール改修工事				A
	内部建具（扉、窓等）							
	室内表示							
	照明器具							
	衛生器具							
	冷暖房器具							
	その他（ ）							
4 電気設備	分電盤							B
	配線・配管							
	電灯・コンセント設備							
	その他（ ）							
5 機械設備	給水配管							B
	排水配管							
	消防設備		毎年定期点検					
	その他（ ）							
特記事項（改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載）							健全度	
							94 / 100点	

建物名	町民体育館			建築年度	昭和45年度		(築 47 年)
構造種別	RC	S	W	延床面積	1,062 m ²	階数	地上 1 階
耐震安全性	旧耐震基準		コンクリート強度	N/mm ²		調査年度	平成 年度
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容					
仕様(該当する項目にチェック)			劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	平成8年度	内容	改修		
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	早急な改修 工事が必要		C	
2 外壁		年度	平成8年度	内容	改修		
☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☒ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			B	
部位	修繕・点検箇所	実施年度	特記事項			評価	
3 内部仕上	床・壁・天井	平成8年度	改修 床は凸凹が数か所ある			C	
	内部建具(扉、窓等)	平成8年度	改修				
	室内表示						
	照明器具	昭和62年度	アリーナ照明設備増設工事				
	衛生器具						
	冷暖房器具	平成8年度	改修時に現在のボイラーを設置				
	その他()						
4 電気設備	分電盤	平成8年度	改修			B	
	配線・配管	平成8年度	改修				
	電灯・コンセント設備						
	その他()						
5 機械設備	給水配管	平成12年度	便所排水設備改修工事			B	
	排水配管	平成12年度	便所排水設備改修工事				
	消防設備	毎年定期点検					
	その他()						
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)						健全度	
						59/100点	

建物名	空知川スポーツリンクス			建築年度	平成5年度		(築 24 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	977 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度	N/mm ²		調査年度	平成 年度	
部位		工事履歴 (部位の更新) 年度及び工事内容						
仕様 (該当する項目にチェック)				劣化状況		特記事項	評価	
1 屋根・屋上		年度	平成19年度	内容	屋根改修工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根 (長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根 (スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☒ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					B
2 外壁		年度	平成8年度	内容	改修			
☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					B
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井		平成21年度	内部天井改修				D
	内部建具 (扉、窓等)							
	室内表示							
	照明器具		平成21年度	照明器具改修				
	衛生器具							
	冷暖房器具		平成11年度	パイピング設備工事				
	その他 ()							
4 電気設備	分電盤		平成11年度	パイピング設備工事				B
	配線・配管		平成11年度	パイピング設備工事				
	電灯・コンセント設備		平成11年度	パイピング設備工事				
	その他 ()							
5 機械設備	給水配管		平成11年度	パイピング設備工事				B
	排水配管		平成11年度	パイピング設備工事				
	消防設備		毎年定期点検					
	その他 ()							
特記事項 (改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載) 平成5年伊藤組木工場をカーリング場として改修 現在使用している冷却システム (フロン) が平成32年で製造中止となる							健全度 51 / 100点	

建物名	かなやま湖スポーツ研修センター			建築年度	昭和61年度		(築 31 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	481 m ²	階数	地上 2 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²	調査年度	平成 年度	
部位		工事履歴(部位の更新) 年度及び工事内容						
仕様(該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	平成21年度	内容	屋上防水シート張替工事			
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☒ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					D
2 外壁		年度	平成21年度	内容	屋上防水シート張替工事			
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁() ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					B
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井							B
	内部建具(扉、窓等)							
	室内表示							
	照明器具							
	衛生器具		平成20年度	トイレ改修工事				
	冷暖房器具							
	その他()							
4 電気設備	分電盤							B
	配線・配管							
	電灯・コンセント設備							
	その他()							
5 機械設備	給水配管		平成6年度	シャワー室改修工事				B
	排水配管		平成6年度	シャワー室改修工事				
	消防設備		毎年定期点検					
	その他()							
特記事項(改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)							健全度	
							51	100点

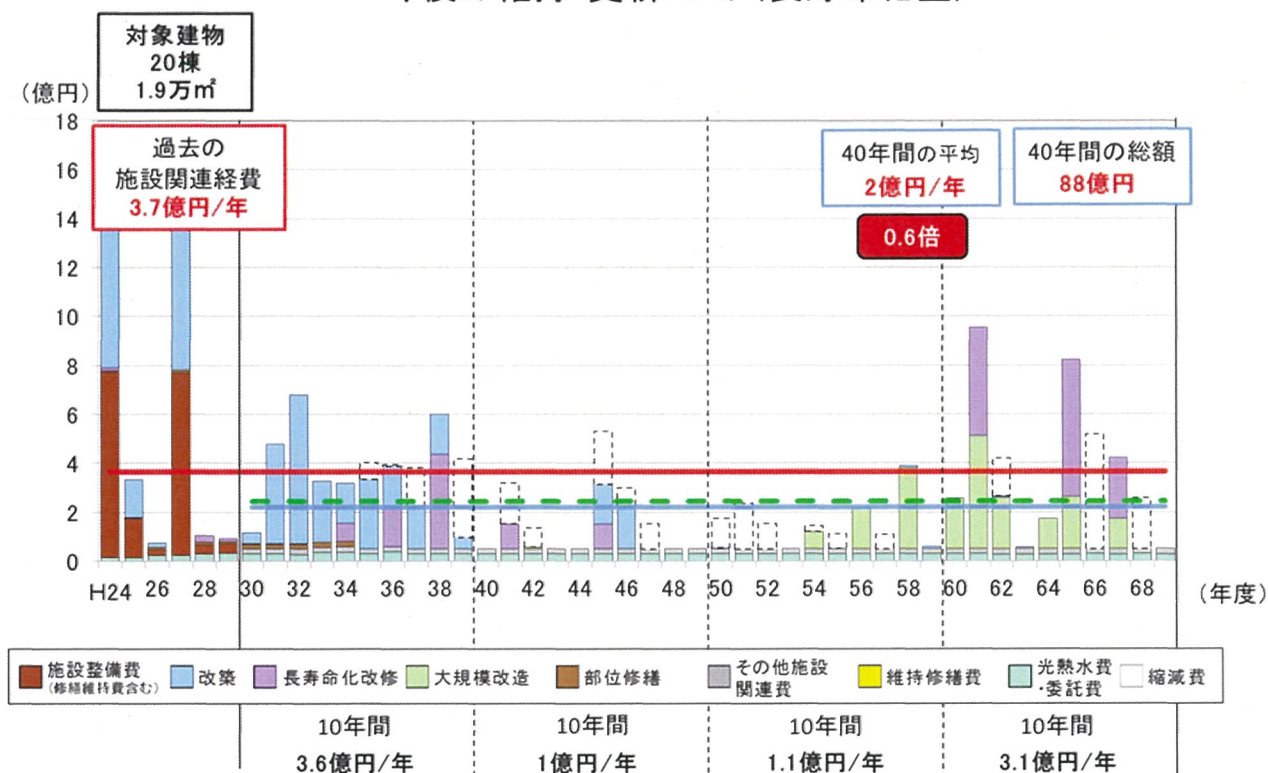
建物名	湖畔野球場 トイレ			建築年度	平成11年度		(築 18 年)	
構造種別	RC	S	W	延床面積	27 m ²	階数	地上 1 階	
耐震安全性	新耐震基準		コンクリート強度		N/mm ²	調査年度	平成 年度	
部位		工事履歴 (部位の更新) 年度及び工事内容						
仕様 (該当する項目にチェック)				劣化状況			特記事項	評価
1 屋根・屋上		年度	内容					
☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根 (長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根 (スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフドレンが目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある					A
2 外壁		年度	内容					
☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある					A
部位	修繕・点検箇所		実施年度	特記事項				評価
3 内部仕上	床・壁・天井							A
	内部建具 (扉、窓等)							
	室内表示							
	照明器具							
	衛生器具							
	冷暖房器具							
	その他 ()							
4 電気設備	分電盤							A
	配線・配管							
	電灯・コンセント設備							
	その他 ()							
5 機械設備	給水配管							A
	排水配管							
	消防設備							
	その他 ()							
特記事項 (改修工事や12条点検、消防点検、各種点検等による指摘事項等を記載)							健全度	
							100/100点	

7 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

適切な時期に大規模改造や長寿命化改修を実施することを前提に、すべての建築物の目標耐用年数を80年とした長寿命化型管理を行った場合、今後40年間の維持・改築コストは総額約88億円で、従来型管理を行った場合のコストと比較して約10億円の削減になります。

1年あたりの平均経費は約2億円であり、過去の施設関連経費の平均値3.7億円と比較すると、約0.6倍削減することが想定されます。大規模改造や長寿命化改修等の実施にあたっては、その時の財政状況に応じた最も合理的な対策メニューを検討するとともに、経費削減に向けた様々な取り組みを検討していく必要があります。

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



第4章 教育施設整備の基本的な方針

1 教育施設の規模・配置計画等の方針

本町の教育施設については、これまでに形成された地域コミュニティを維持するため、原則として現在の配置を維持するものとします。

小学校及び中学校の統廃合により廃校となった学校もあることから、安全性を踏まえながら、今後の維持管理や後活用等を検討し、適切な施設管理を進めていきます。

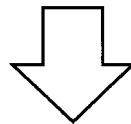
(1) 教育施設長寿命化計画の基本方針

南富良野町公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」を踏まえ、教育施設長寿命化計画は、以下の3つを基本方針とします。

① 予防保全による長寿命化の推進

南富良野町公共施設等総合管理計画

- ・ 少しずつ手を加えることで使用見込み期間の延伸が見られる施設については、予防保全型管理を行います。
- ・ 施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先度をつけて、計画的な維持管理・修繕・更新を行います。
- ・ 今後も維持していく公共施設については、中長期的修繕計画を策定することを検討します。



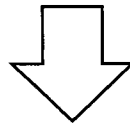
南富良野町教育施設長寿命化計画

- ・ 今後、劣化の大きい施設から順番に、目標耐用年数 80 年まで使用できるように、建物の健全を回復するための改修を行います。その際、財政状況を踏まえて、教育環境の質的向上や社会的なニーズに対応するための改修を検討します。
- ・ 社会情勢や町民ニーズ等を踏まえながら、5年毎に長寿命化計画の見直しを行い、中長期を見据えた財政負担の平準化やライフサイクルコストの削減を図ります。

② 安全性への配慮の推進

南富良野町公共施設等総合管理計画

- ・ 少子化、高齢化社会への対応として、バリアフリーや環境への配慮など、時代の要求に対応した更新を検討します。
- ・ 日常点検、定期点検などを通じて公共施設等の劣化状況を把握するとともに、災害発生時の機能保持のため、安全性の確保に努めます。
- ・ 今後、耐震化が必要となる施設は、引き続き検討を進め、必要な整備を行います。



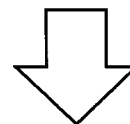
南富良野町教育施設長寿命化計画

- ・ 日常点検、定期点検などを通じて公共施設等の劣化状況を把握するとともに、災害発生時の機能保持のため、安全性の確保に努めます。
- ・ 南富良野高等学校の校舎及び体育館、小・中学校の体育館の耐震化対策を検討し、児童・生徒が安心して活動できる施設整備を行います。

③ 施設管理・運営の適正化

南富良野町公共施設等総合管理計画

- ・ 当該サービスが公共施設等を維持しなければならないものであるか、民間活力が活用できないかなど、公共施設等とサービスの関係について十分に留意していきます。
- ・ 施設の設置、管理運営にあたっては、指定管理者制度のほか、PPP/PFI の活用を検討します。



南富良野町教育施設長寿命化計画

- ・ 社会教育施設、社会体育施設は指定管理者制度を引き続き活用し、効果的・効率的な施設管理を行い、住民サービスの向上や経費の削減を図ります。
- ・ 旧学校施設の後活用を検討し、有効な施設活用を検討します。

（２）改修等の基本的な方針

① 長寿命化の方針

中長期的な維持・改築等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実施するため、適切な時期に大規模改造や長寿命化改修を実施することを前提に、すべての建築物の目標耐用年数を 80 年とします。

ただし、建築後 40 年程度経過した施設など、目標耐用年数までの期間が少なく老朽化が著しい建物については、長寿命化を行うことによりかえって財政への負担が増加する可能性があることから、その時の財政状況や費用対効果を検証しながら、長寿命化改修の実施の有無や対策メニューを検討していきます。

② 目標耐用年数、改修周期の設定

本町の教育施設においては、前述した長寿命化の方針に従い、長寿命化改修の実施が適当と判断される施設については、建築後 80 年まで使用することを目標に、大規模改造を建築後 20 年と 60 年、長寿命化改修を建築後 40 年で実施していくことを基本とします。また、長寿命化改修を実施しない施設についても、現状のまま日常修繕や大規模改造のみで対応し、80 年まで使用することを目標とします。

2 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準

(1) 改修等の整備水準

本町では、前述の基本的な方針で示したように、施設の安全性の確保及び財政負担の軽減・平準化の観点から、適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標耐用年数を概ね 80 年とした施設の長寿命化を図ります。

長寿命化改修では、単に物理的な不具合を直すのみではなく、ライフラインの更新等により建物の耐久性を向上させるとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求めている水準まで引き上げることを目指します。

① 建物の耐久性の向上

今後の改修にあたっては、ライフサイクルコストの向上や建物のエネルギー効率の向上、環境負荷の低減等の観点を取り入れて、下記の考え方で耐久性の向上を図っていきます。

部位	耐久性の向上策
屋根・屋上	屋根・屋上においては、躯体や建物内部への漏水を防止し、建物の劣化を抑えるために、防水材を全面的に設置します。防水材の材料は、今後の供用年数を考慮し、塗膜防水、シート防水及びアスファルト防水等の中から、最も費用対効果の高いものを選定します。
外 壁 内部仕上	外壁や内部仕上においては、ひび割れ、浮き及びはく落等の重度な劣化を未然に防止するため、壁面材で部分的又は全面的に被覆し、躯体の劣化現象の進行を遅らせます。壁面材の材料は、塗膜仕上、モルタル仕上及びコンクリート打放し仕上等の中から、最も費用対効果の高いものを選定します。
電気設備 機械設備	設備機器の老朽化対策では、日常点検、消耗部品の定期交換によって故障を未然に防ぐとともに、必要に応じて物理的耐用年数の長い機器を選定します。また、設備配管の老朽化対策では、洗浄工法、更正工法及び更新工法等、今後の供用年数を考慮し、最も費用対効果の高い対策工法を選定します。

(2) 維持管理の項目・手法

長寿命化を図るためには、定期的な改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行う必要があります。日常的、定期的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握でき、より早急に異常に気付くことができるため、施設に応じた維持、改修内容や時期を計画に反映することができます。

維持管理の項目・手法例

維持管理分類	項目	内容	頻度	主な担当者
日常的な点検	清掃	快適な環境を維持しながら建物の仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れを除去する。	毎日	施設管理者
	日常点検	機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見する。	毎日	施設管理者
定期的な点検	自主点検	機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画を立てる。	周期を設定	施設管理者 施設設置者
	法定点検	自主点検では確認できない箇所や法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検する。	周期を設定	専門業者
臨時的な点検	臨時点検	日常、定期点検以外に行う臨時的な点検。	故障時等随時実施	施設管理者 施設設置者 専門業者
情報管理	施設台帳の整備	点検・工事の履歴を作成し、各施設の現状把握や計画への反映に活用する。	各点検、改修、修繕後に実施	施設設置者

3 旧学校施設の後活用等について

(1) 旧北落合小学校

平成26年3月31日に閉校した旧北落合小学校につきましては、東京のベンチャー企業の研究開発室として、平成30年4月より民間業者へ無償貸与しています。

今後は、継続的に利用し、各ベンチャー企業の技術を使った地域課題の解決、地域の大人や子ども達と一緒に学ぶ場づくり、地域住民も自由に利用できる交流スペースづくり等を行い、地域とともに活動できる拠点づくりを進めていきます。

施設にかかる費用につきましては、貸与期間は貸与先で対応することとしています。

(2) 旧落合小学校

平成26年3月31日に閉校した旧落合小学校につきましては、落合地区連合会との間で無償貸与による後活用を検討しています。

今後は、それぞれのニーズ・課題を共有し解決しながら、活用に向けて進めていきます。

施設にかかる費用につきましては、施設維持に必要な経費を町で対応し、事業が軌道に乗った際には、貸与先で対応することとしています。

(3) 旧金山小学校

平成28年3月31日に閉校した旧金山小学校につきましては、校舎の老朽化が著しく、維持・改修に大きな負担が見込まれることから、校舎の解体を検討しています。

今後は財政状況を検討しながら最低限の維持補修を行い、解体へ向けて進めていきます。

第5章 長寿命化の実施計画

1 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 改修等の優先順位づけ

建築年数が40年を超え劣化が著しく顕在化している建物については、建物の健全性を回復するための大規模改造を行います。その後は、建物の健全性の回復を図るタイミングに合わせて、財政状況を考慮したうえで、教育環境の改善や社会的なニーズに対応するための改修を行っていきます。

(2) 今後の実施計画

今後5年間の実施計画として、まず、南富良野高等学校は耐震診断の結果、「耐震性に疑問あり」と判定されたことから、今後の学校の在り方も含め、改修について検討します。

空知川スポーツリンクスの冷却システムで使用されているフロンガスは、平成32年をもって製造中止となることから、新たな冷却装置の導入に併せて施設の新築を検討します。

学校給食センターは、建築から43年が経過し、施設の老朽化が著しい状況にあります。南富良野町の児童・生徒が安全に安心して給食を食べることができるよう、施設の改修並びに食の安全を確保するため、衛生管理向上を図る環境整備を実施します。

各学校の体育館は落下物防止のため、平成31年度にバスケットゴール落下防止・取付を行います。また、老朽化による劣化が著しく、降雨時の雨漏りをはじめ、外壁の塗装の剥がれ、床の凹凸等が随所に見られます。平成34年度に南富良野小学校体育館、平成35年度に南富良野中学校体育館、平成37年度に南富良野西小学校体育館が築40年に到達することから、40年を目途に大規模改造を行い、施設の長寿命化を図っていきます。

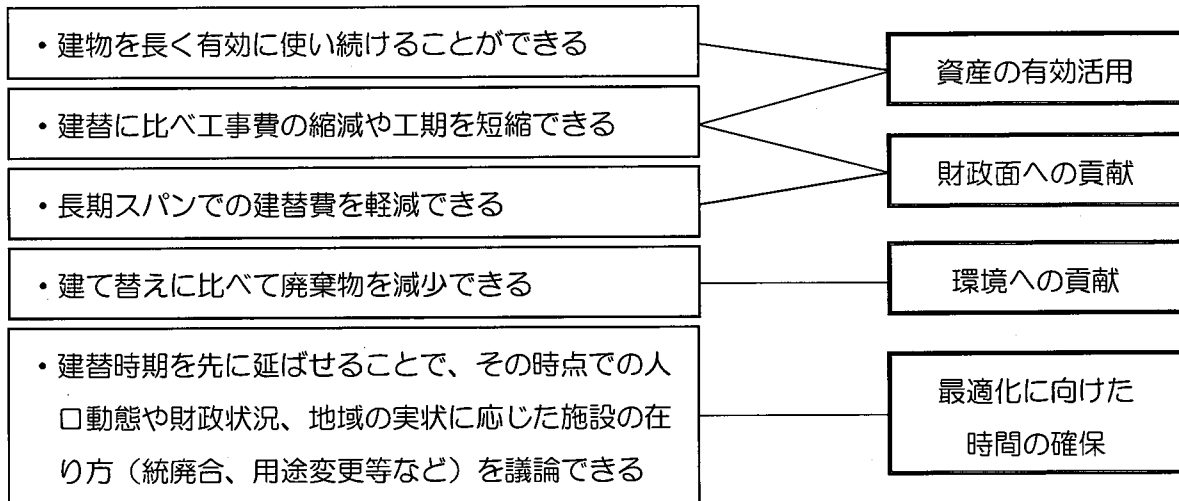
平成30年度に予定している照明設備改修につきましては、総務課において町内の施設を一括更新する予定となっています。

施設名	平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費
南富良野小学校										
南富良野小学校体育館	バスケットゴール落下防止取付工事	4,000			大規模改修設計委託	8,000	大規模改修	140,000		
南富良野小学校プール										
南富良野西小学校	外構工事	16,114								
南富良野西小学校体育館	バスケットゴール落下防止工事	3,000								
南富良野西小学校プール										
南富良野中学校										
南富良野中学校体育館	バスケットゴール落下防止工事	3,000					大規模改修に係る設計委託	8,000	大規模改修	130,000
南富良野高等学校										
南富良野高等学校体育館	バスケットゴール落下防止工事	3,000								
南富良野学校給食センター										
北落合地区除雪管理センター			外構工事	14,800					屋上・外壁改修工事	20,000
落合地区多目的センター										
地域交流センター										
金山地区コミュニティセンター										
下金山地区多目的センター										
町民体育館	雨漏り修繕	6,000								
空知川スポーツリンクス	新築に係る設計委託	13,000	新築工事	450,000						
かなやま湖スポーツ研修センター					屋上・外壁改修工事	22,000				
合計		48,114		464,800		30,000		148,000		150,000

2 長寿命化による効果

教育施設の長寿命化を図ることで、下図のように「資産の有効活用」、「財政面への貢献」、「環境への貢献」、「教育施設配置の最適化に向けた時間の確保」など、様々な効果が期待できます。

《長寿命化により期待できる効果》



第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用

南富良野町公共施設等総合管理計画の基本的な方針に従い、管理・運営状況等に関わる情報を公共施設全体として一元的に把握し、効率的かつ効果的な維持管理に向けた取り組みを推進することを目指します。

また、先進的な取り組みから、経費削減に向けた技術や情報等を積極的に取得し、そこで得られた知見を広く共有する場の設置を検討していきます。

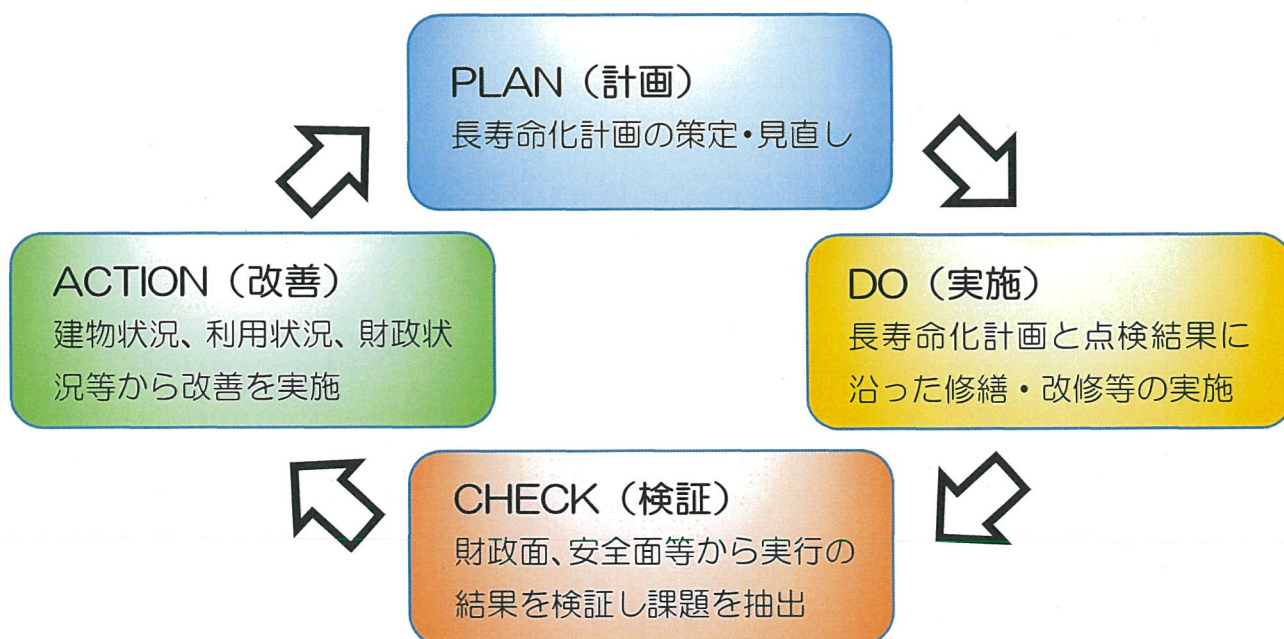
2 推進体制等の整備

本計画は、教育施設を所管する教育委員会が中心となって推進していきますが、南富良野町公共施設の一部でもあることを認識し、公共施設等総合管理計画との連携を図りつつ、複合化する場合等、地域に開かれた施設となるように「横のつながりがある体制」で計画の進捗状況を管理していきます。

また、教育施設は「地域コミュニティの核となる」施設であることから、具体的な取り組みの実施にあたっては、地域住民や関係団体等との意見交換を行う等、町民の意見を反映しながら事業化を進めていきます。

3 フォローアップ

本計画は、40年間という長期の計画であり、学校教育を取り巻く環境の変化や児童生徒数の推移、社会情勢の変化等に対応する必要があるため、5年ごとにPDCAサイクルによる随時見直しを行い、実現性・実行性を確保した計画とします。



用 語 集

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
従来型管理	建物や機械・電気設備等において、不具合が出た箇所のみを事後的に修繕し、建築後60年程度で改築するというような維持管理の方法。
長寿命化型管理	建物の損傷や電気・機械設備等の異常が軽微である早期の段階から、機能・性能の保持・回復を図るための修繕等を予防的に実施し、耐用年数を80年度まで延ばす維持管理の方法。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあたり、教育上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建て替える」こと。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を現代の求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。
大規模改造	断熱化等のエコ改修や老朽化した外装・内装等の改修など、経年劣化した建物や設備の大部分を改修し、原状回復を図ること。
部位修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に、概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
目標耐用年数	本町が目標とする、建物を建築してから改築等を行うまでの使用期間のこと。